

平成28年度 第3A1阿004号

# 市道昭和通り線他2線 舗装工事

## 数 量 計 算 書

建設整備課

数 量 総 括 表 (市道昭和通り線)

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	
					当初	
道路土工				式	1.0	
	掘削工	掘削	砂質土	m <sup>3</sup>	130	
	残土処理工	残土処理	砂質土	m <sup>3</sup>	130	
排水構造物工				式	1.0	
	側溝工	コンクリート蓋(1)	870×140×1000 T-25横断用	m	7	
		コンクリート蓋(2)	900×140×1000 T-25横断用	m	6	
構造物撤去工				式	1.0	
	構造物取壊し工	舗装版切断	As t=5cm	m	92	
		コンクリート切断	Co t=13cm	m	26	
		舗装版破碎	As t=5cm	m <sup>2</sup>	378	
		コンクリート取壊	無筋Co	m <sup>3</sup>	0.5	
		As殻運搬	As殻	m <sup>3</sup>	19	
		Co殻運搬	無筋Co殻	m <sup>3</sup>	0.5	
		建設廃棄物受入料金	As殻	m <sup>3</sup>	19	
		建設廃棄物受入料金	無筋Co殻	m <sup>3</sup>	0.5	
舗装工				式	1.0	
	アファルト舗装工	下層路盤	再生碎石 RC-40 t=19cm	m <sup>2</sup>	378	
		上層路盤	粒調碎石 M-30 t=15cm	m <sup>2</sup>	378	
		表層	再生密粒度As13 t=5cm	m <sup>2</sup>	378	
道路付属施設工				式	1.0	
	区画線工	区画線	白・実線 W=15cm	m	108	
		区画線	白・実線 W=30cm	m	5	
		区画線	白・破線 W=15cm	m	60	
		区画線	白・記号 W=15cm	m	17	

数 量 総 括 表（市道昭和通り線）						
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	
					当初	
		区画線	緑・実線 W=15cm	m	3	
仮設工				式	1.0	
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	式	1.0	



# 土 工 計 算 用 紙

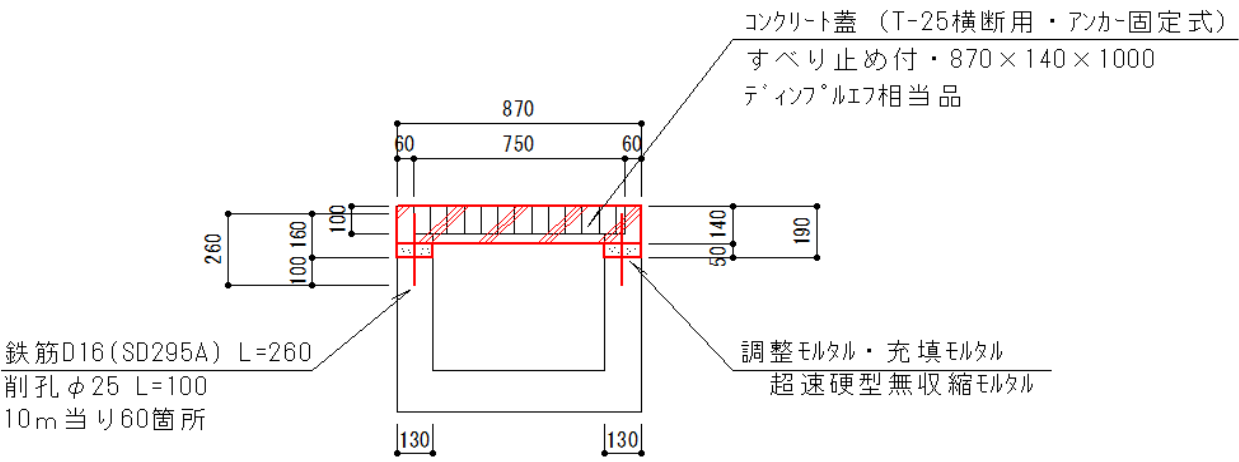
測 点	距 離 (m)	掘削 (土砂)								摘 要
		A	V							
NO. 0	0.000	1.97	-							
NO. 1	20.000	2.16	41.3							
NO. 2	20.000	2.10	42.6							
NO. 2 + 8.00	8.000	2.10	16.8							
BNO. 0	0.000	1.22	-							
BNO. 1	20.000	1.22	24.4							
計	68.000		125.1							





コンクリート蓋(1)

(10m当り)

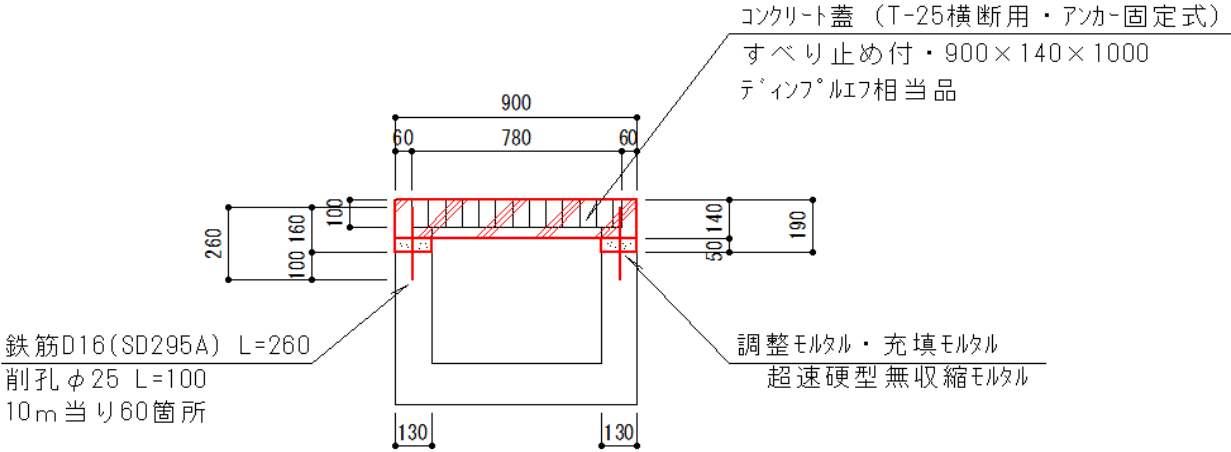


名 称	計 算	単位	数 量
コンクリート蓋 870×140×1000 T-25横断用	※工法図より N = = 10.00	枚	10.0
調整モルタル 超速硬型無収縮モルタル	= 0.13 × 0.05 × 20.0 × 1,925 = 250.25 (kg/m3)	kg	250
充填モルタル 超速硬型無収縮モルタル	= 0.015 × 0.015 × 3.14 × 0.14 × 6.0 × 10.0 × 1,925 = 11.42 (kg/m3)	kg	11
鉄筋D16 SD295A	= 0.26 × 6.0 × 10.0 × 1.56 = 24.34	kg	24
削孔φ25 L=100	= 6.0 × 10.0 = 60.00	箇所	60.0
蓋撤去・清掃・準備工	= 1.0	式	1.0



コンクリート蓋(2)

(10m当り)



名 称	計 算	単位	数 量
コンクリート蓋 900×140×1000 T-25横断用	※工法図より N = = 10.00	枚	10.0
調整モルタル 超速硬型無収縮モルタル	= 0.13 × 0.05 × 20.0 × 1,925 (kg/m3) = 250.25	kg	250
充填モルタル 超速硬型無収縮モルタル	= 0.015 × 0.015 × 3.14 × 0.14 × 6.0 × 10.0 × 1,925 (kg/m3) = 11.42	kg	11
鉄筋D16 SD295A	= 0.26 × 6.0 × 10.0 × 1.56 = 24.34	kg	24
削孔φ25 L=100	= 6.0 × 10.0 = 60.00	箇所	60.0
蓋撤去・清掃・準備工	= 1.0	式	1.0

# 数 量 計 算 書

工 種	構造物撤去工				
種 別	構造物取壊し工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
舗装版切断 (As t=5cm)	$L = \begin{array}{r} 5.8 + 6.2 + 5.7 + 48.0 \\ - 0.87 + 3.6 + 3.6 + 20.0 \end{array} = 92.0$ <p style="text-align: right;">合計 92.0</p>			92.0	m
コンクリート切断 (Co t=13cm)	$L = 7.0 \times 2.0 + 6.2 \times 2.0 = 26.4$			26.4	m
舗装版破碎	土工計算より $A = 369.60$ 平面図より $A = 5.70 \times 2.50 - 0.87 \times 7.0 = 8.16$ 計 $= 377.76$			377.8	m <sup>2</sup>
コンクリート取壊	$V = 0.035 \times 13.2 = 0.46$			0.5	m <sup>3</sup>
As殻運搬	$V = 377.76 \times 0.05 = 18.89$			18.9	m <sup>3</sup>
Co殻運搬	$V = 0.46 = 0.46$			0.5	m <sup>3</sup>
建設廃棄物 受入料金 (As殻)	$V = 18.89 = 18.89$			18.9	m <sup>3</sup>
建設廃棄物 受入料金 (Co殻)	$V = 0.46 = 0.46$			0.5	m <sup>3</sup>

# 数 量 計 算 書

工 種	舗装工				
種 別	アスファルト舗装工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
下層路盤 (再生碎石 RC-40, t=19cm)	土工計算より $A =$ $= 369.60$ 平面図より $A = 5.70 \times 2.50 - 0.87 \times 7.0 = 8.16$ 計 $= 377.76$			377.8	m <sup>2</sup>
上層路盤 (粒調碎石 M-30, t=15cm)	土工計算より $A =$ $= 369.60$ 平面図より $A = 5.70 \times 2.50 - 0.87 \times 7.0 = 8.16$ 計 $= 377.76$			377.8	m <sup>2</sup>
表層 (再生密粒 As13, t=5cm)	土工計算より $A =$ $= 369.60$ 平面図より $A = 5.70 \times 2.50 - 0.87 \times 7.0 = 8.16$ 計 $= 377.76$			377.8	m <sup>2</sup>

# 土 工 計 算 用 紙

測 点	距 離 (m)	As取壊		下層路盤		上層路盤		表層		摘 要
		A	V	A	V	A	V	A	V	
NO. 0	0.000	5.80	-	5.80	-	5.80	-	5.80	-	
NO. 1	20.000	6.40	122.0	6.40	122.0	6.40	122.0	6.40	122.0	
NO. 2	20.000	6.20	126.0	6.20	126.0	6.20	126.0	6.20	126.0	
NO. 2 + 8.00	8.000	6.20	49.6	6.20	49.6	6.20	49.6	6.20	49.6	
BNO. 0	0.000	3.60	-	3.60	-	3.60	-	3.60	-	
BNO. 1	20.000	3.60	72.0	3.60	72.0	3.60	72.0	3.60	72.0	
計	68.000		369.6		369.6		369.6		369.6	

# 数 量 計 算 書

工 種	道路付属施設工				
種 別	区画線工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
区画線 白・実線 W=15cm	平面図より  $L = 88.0 + 20.0 = 108.00$  合計 $= 108.00$			108.0	m
区画線 白・実線 W=30cm	平面図より  $L = 5.40 = 5.40$  合計 $= 5.40$			5.4	m
区画線 白・破線 W=15cm	平面図より  $L = 50.00 + 10.00 = 60.00$  合計 $= 60.00$			60.0	m
区画線 白・記号 W=15cm	平面図より  $L = 16.50 = 16.50$  合計 $= 16.50$			16.5	m
区画線 緑・実線 W=15cm	平面図より  $L = 2.50 = 2.50$  合計 $= 2.50$			2.5	m

交通誘導警備員算出根拠（市道昭和通り線）

工 種	計 算 式		備考
道 路 土 工			
掘 削 工	機 械 掘 削	128.0 m <sup>3</sup> ÷ m <sup>3</sup> / 日 =	
排 水 構 造 物 工			
側 溝 工	コンクリート蓋 (1)	7.0 m ÷ m / 日 =	
	コンクリート蓋 (2)	6.2 m ÷ m / 日 =	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	92.0 m ÷ m / 日 =	
	コンクリート切断	26.4 m ÷ m / 日 =	
	舗装版破砕	377.8 m <sup>2</sup> ÷ m <sup>2</sup> / 日 =	
	コンクリート取壊	0.5 m <sup>3</sup> ÷ m <sup>3</sup> / 日 =	
舗 装 工			
アスファルト舗装工	下層路盤	377.8 m <sup>2</sup> ÷ m <sup>2</sup> / 日 =	
	上層路盤	377.8 m <sup>2</sup> ÷ m <sup>2</sup> / 日 =	
	表層	377.8 m <sup>2</sup> ÷ m <sup>2</sup> / 日 =	
道路付属施設工			
区 画 線 工	区画線・白 実線・W=15cm	108.0 m ÷ m / 日 =	
	区画線・白 実線・W=30cm	5.4 m ÷ m / 日 =	
	区画線・白 破線・W=15cm	60.0 m ÷ m / 日 =	
	区画線・白 記号・W=15cm	16.5 m ÷ m / 日 =	
	区画線・緑 実線・W=15cm	2.5 m ÷ m / 日 =	

交通誘導警備員 A	1 人 × 日 × 1.2 = 人	人
交通誘導警備員 B	2 人 × 日 × 1.2 = 人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。  
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。



数 量 計 算 書					
工 種	防護柵工				
種 別	防止柵工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
転落防止柵 H=1100・4段 センタービーム	平面図より			45.0	m
	L =				
	合計 = 45.00				

## 防護柵工

数量

当初

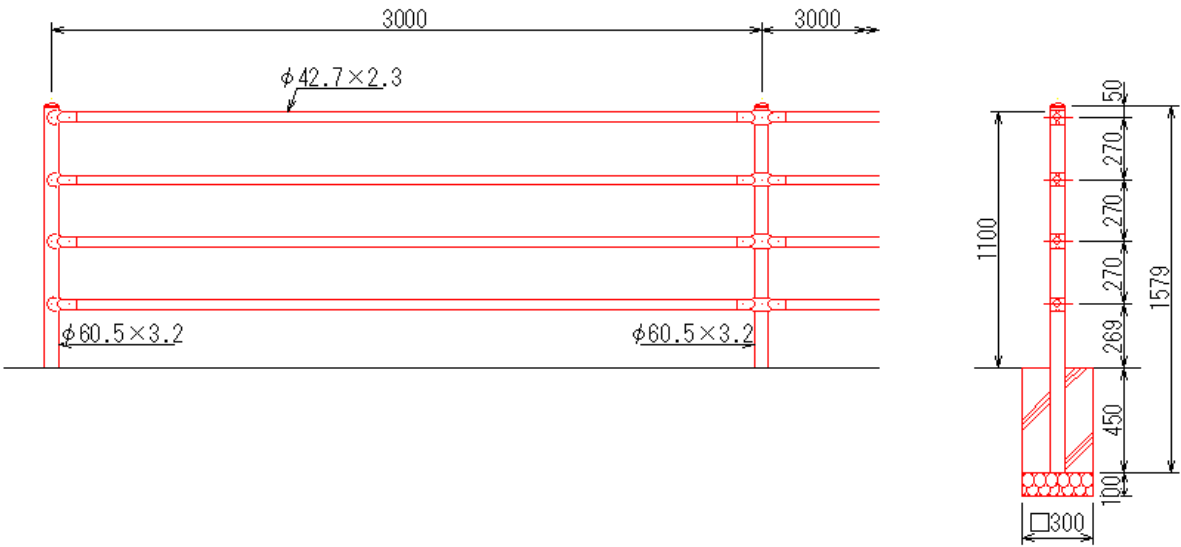
合計 = 45.00

転落防止柵  
H=1100・4段  
センターヒーム



転落防止柵

(10m当り)



名 称	計 算	単位	数 量
転落防止柵 H=1100・4段 センターヒーム	※工法図より $L = 10.00$	m	10.0
基礎ブロック 300×300×450	$N = 10.00 \div 3.00 = 3.33$	個	3.3
基礎碎石 RC-40	$V = 0.30 \times 0.30 \times 0.10 \times 10.00 \div 3.00 = 0.03$	m3	0.03

数 量 総 括 表 (市道松本南草線)

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	
					当初	
道路土工				式	1.0	
	作業土工	床掘	砂質土	m3	2	
		埋戻	RC-40	m3	1	
	残土処理工	残土処理	砂質土	m3	2	
排水構造物工				式	1.0	
	集水桝工	集水桝	400×600×600 グレーチング(サハラ)	基	1	
構造物撤去工				式	1.0	
	構造物取壊し工	舗装版切断	As t=4cm	m	4	
		コンクリート切断	Co t=10cm	m	2	
		舗装版破碎	As t=4cm	m <sup>2</sup>	2	
		コンクリート取壊	無筋Co	m3	0.1	
		As殻運搬	As殻	m3	0.1	
		Co殻運搬	無筋Co殻	m3	0.1	
		建設廃棄物受入料金	As殻	m3	0.1	
		建設廃棄物受入料金	無筋Co殻	m3	0.1	
舗装工				式	1.0	
	アファルト舗装工	路盤	粒調碎石 M-30 t=10cm	m <sup>2</sup>	2	
		表層	再生密粒度As13 t=4cm	m <sup>2</sup>	2	
仮設工				式	1.0	
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	式	1.0	

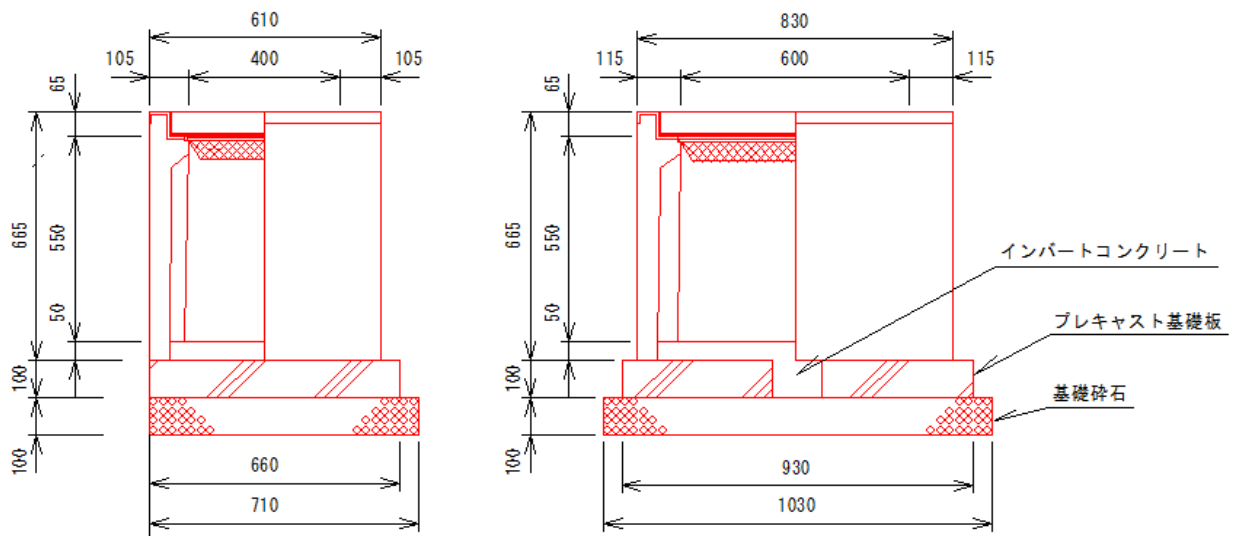
数 量 計 算 書					
工 種	道路土工				
種 別	作業土工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
床掘 (砂質土)	標準断面図より $V = 0.96 \times 2.00 = 1.92$			1.9	m3
埋戻 (RC-40)	標準断面図より $V = 0.41 \times 2.00 = 0.82$			0.8	m3



数 量 計 算 書					
工 種	排水構造物工				
種 別	集水枡工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
集水枡 400×600× 600・グレーチ ング(サラサラ)	N =  = 1.00  合計 = 1.00			1.0	基

# 集水桝

(1基当り)



名 称	計 算	単位	数 量
基礎碎石 t=100 RC-40	※工法図より $A = 0.71 \times 1.03$ $= 0.73$	m <sup>2</sup>	0.73
プレキャスト基礎板 400×100×2000	$N =$ $= 1.00$	枚	1.0
インバートコンクリート t=50 18-8-25BB	$V = 0.40 \times 0.60 \times 0.05 +$ $0.13 \times 0.66 \times 0.10$ $= 0.02$	m <sup>3</sup>	0.02
集水桝 400×600×600	$N =$ $= 1.00$	基	1.0
グレーチング 蓋 400×600用 サラサラ	$N =$ $= 1.00$	枚	1.0

# 数 量 計 算 書

工 種	構造物撤去工				
種 別	構造物取壊し工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
舗装版切断 (As t=4cm)	$L = 0.83 + 0.60 + 0.60 + 0.61 + 0.60 + 0.61 + 0.60 - 0.45 - 0.45 = 3.55$			3.6	m
コンクリート切断 (Co t=10cm)	$L = \text{L型} \begin{matrix} 0.45 \\ \times \end{matrix} 2 + \text{基礎板} \begin{matrix} 0.40 \\ \times \end{matrix} 2 = 1.7$			1.7	m
舗装版破碎	標準断面図より $A = 0.80 \times 2.0 = 1.60$			1.6	m <sup>2</sup>
コンクリート取壊	標準断面図より $V = 0.05 \times 2.0 = 0.10$			0.1	m <sup>3</sup>
As殻運搬	$V = 1.60 \times 0.04 = 0.06$			0.1	m <sup>3</sup>
Co殻運搬	$V = 0.10 = 0.10$			0.1	m <sup>3</sup>
建設廃棄物 受入料金 (As殻)	$V = 0.06 = 0.06$			0.1	m <sup>3</sup>
建設廃棄物 受入料金 (Co殻)	$V = 0.10 = 0.10$			0.1	m <sup>3</sup>

数 量 計 算 書					
工 種	舗装工				
種 別	アスファルト舗装工			数 量	
名 称	計 算 式			当初	
路盤 (粒調碎石 M-30, t=10cm)	$A = 2.03 \times 1.21 - 0.83 \times 0.61 = 1.95$			2.0	m <sup>2</sup>
表層 (再生密粒 As13, t=4cm)	$A = 2.03 \times 1.21 - 0.83 \times 0.61 = 1.95$			2.0	m <sup>2</sup>



交通誘導警備員算出根拠（市道松本南草線）

工 種	計 算 式		備考
道 路 土 工			
作 業 土 工	床 掘	$1.9 \text{ m}^3 \div \text{m}^3 / \text{日} =$	
	埋 戻	$0.8 \text{ m}^3 \div \text{m}^3 / \text{日} =$	
排 水 構 造 物 工			
集 水 桝 工	集 水 桝	$1.0 \text{ 基} \div \text{基} / \text{日} =$	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	$3.6 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	コンクリート切断	$1.7 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	舗装版破碎	$1.6 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	コンクリート取壊	$0.1 \text{ m}^3 \div \text{m}^3 / \text{日} =$	
舗 装 工			
アスファルト舗装工	路盤	$2.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	表層	$2.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	

交通誘導警備員 A	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人
交通誘導警備員 B	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。  
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。